

■会長/山田 文雄 ■幹事/小平 直史

◆司会=合田 敦子副SAA

◆ゲストビジター=諏訪市教育総務課 教育企画係・森崇課長補佐兼係長、学務係・飯島恵子係長

◆出席報告

本日	56.00%	22名欠席
前回訂正	77.55%	11名欠席

◆ラッキーナンバー=No. 6 伊藤武利君

◆ニコニコボックス=●小平直史君・飯田兼光君=本日、山田会長が欠席となります。飯田副会長に代役をお願い致しました。諏訪市教育総務課の森様、飯島様、本日はよろしくお願ひ致します。●玉本広人君・古屋了君=諏訪市教育総務課より森係長、飯島係長をお迎えして、本日はよろしくお願ひ致します。●宮坂康弘君=おかげさまで第35回諏訪湖マラソンが22日に6,600人のランナーを迎え行われました。天候にも恵まれ無事に終了しました。ありがとうございました。●平林明君・川村総一郎君・早川亮君・小島拓也君・善治直樹君・合田敦子君=ようこそ美室会員。お待ちしております。

●河西正一君=結婚記念日の花、ありがとうございました。

●三澤郁馬君=結婚祝のお花を頂きましてありがとうございました。

●山本真君=欠席続きでゴメンナサイ。出られる時は出席します。

●伊藤武利君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・山田文雄君(飯田兼光副会長代読)=日本のロータリークラブは、1920年の東京RC創立から20年後、1940年に戦争により全て解散した。この頃の様子が「歌うクラブは良いクラブ」に記載がありましたので、以下引用します。

時局は悪化し、軍国主義の波は大きくなる。1937年の地区協議会では、国際親善よりも殉国奉仕の覚悟が必要と論じられた。ガバナーの里見純吉(大阪RC)は1937年9月1日、全国のクラブの会長宛に、次のような書簡を送った。事変の拡大は遂に国家総動員の形態にまで進展し今日、ロータリー歌にいわゆる「御国のために捧げん我らの生業」をいよいよ現実に頭揚する事となり、「奉仕の理想に集える」我らロータリアンが銘々職業の区分の異なるだけ、多方面に報国奉仕の実を上げ得られと想ひ、第70区ロータリアン各位のいよいよ御健祥ならんことを偏にお祈り申し上げる。敬具。国際ロータリー第70区の第10年次大会は、1938年5月、京城(現在のソウル)で開催された。日中戦争が一層深まるなか、京城(けいじょう)は大陸への兵站基地であり、日本、朝鮮、台湾、満州の43クラブ449人が参加した。来賓の南次郎・朝鮮総督は、次の趣旨の演説をした。ロータリー精神の精華(“Service above Oneself” & “One who serves best profits best”)は我が帝国の建国以来多年にわたって培われている日本精神と合致している。日本の道徳とまったく一致する。三千年の歴史をもった日本精神に培われた日本のロータリアン各位は、世界のロータリアンに対して、まず日本の精神をもって彼らを化する(④導く、の意)という抱負のもとに進まれんことを熱望する。また、来賓の小磯國昭・朝鮮軍軍司令官は『わがためになすは わが身のためならず、人のた

めこそわがためと知れ』という和歌は、ロータリーの信条を遺憾なく詠い尽している三十一文字である」と説いた。大会において、「生業報国」がロータリーの精神であることを確認した。また、忠勇なる出征将士に対する感謝の決議と慰問金の拠出、大会参加の夫人による傷病兵慰問が決議された。そして国歌、『奉仕の理想』『我等の生業』その他を歌った。1939年日中戦争は先が見えない状態になり、アメリカとの関係は著しく悪化する。それに伴い、国内においてロータリーに対する攻撃は、関東を含め激しさを増す。例会に憲兵や特高がしばしば同席し、卓話も事前に警察に届け出ることとされた。新聞紙上ではスパイ呼ばわりされ、解散を求められるようになる。世情の圧力は、ロータリアンの力では支えきれないところまでくる。米山梅吉(日満連合会会長)が軍当局に呼び出され、ロータリーの存在は「大日本帝国に対する反逆である」とまで極言される。1920年に東京RCが創立されてから20年の間に、48のロータリークラブが生まれ(朝鮮、台湾、満州の8クラブを含む)、会員数は2,000人を超える。1940年の8月以降、日本のロータリークラブは、それぞれの判断により、順次、相次いで解散を決定し、国際ロータリー(RI)から脱退した。前述の通り、東京RCは1940年9月11日に最後の例会を開催し、『奉仕の理想』を歌う。そして、臨時総会を開催し、解散することとした。東京RCの英文歴史書はここで終了し、最後のページには次のように記す。「この日、大日本帝国のなかにおいてロータリー精神を堅持するために、芳紀20年のロータリークラブを自分の意志で解散することとした。東京RCのすべての会員は、ロータリー精神のさらなる推進のために、我々が平和的に再度世界の仲間と手を結ぶことができる日が到来するのを強く希求する」。今日の会長告知は以上とします。

◆幹事報告・小平直史君=①本日は社会奉仕委員会による、プロジェクター・図書寄贈報告です。諏訪市教育総務課の飯島様・森様から卓話をいただきます。よろしくお願ひ致します。②新入会員 ナイーフギャラリー社長 原田美室(はらだ みむろ)様が、本日より入会となります。後ほど入会セレモニーを行います。所属委員会は出席委員会です。

◆委員会報告●親睦・クラブ親善委員会川村総一郎君=11月19日はバスハイクです。今年の行き先は東京方面に決定しました。明治神宮、ご飯を赤坂離宮、最後にサントリー美術館に寄ります。多くの会員の皆さまにご参加をお願いします。

◆新会員入会セレモニー●小針哲郎君=原田美室君を紹介いたします。昭和48年4月生まれ。ご自宅は諏訪市城南です。会社は株式会社ナイフギャラリー代表取締役です。昨年お亡くなりになりました原田泰治様のご長女です。ご家族は旦那様と息子さんがお一人、私の息子と同窓生です。趣味は美容バレエ、音楽鑑賞です。昨年のトライアスロン大会は、実行委員会メンバーとして助けられました。特技はDJでターンテーブルを回すファンキーな方です。明るく今までにないキャラクターです。で、ご期待を頂きたいと思ひます。



●原田美室君=こんにちは。原田美室と申します。よろしくお願ひします。まだ会社を起こして3年目です。まさか父が昨年亡くなるとは思ひませんでした。それでも事業を継承し

ていかなくはないので、絵の管理や維持、グッズ制作、美術の展示会を企画しています。入会させて頂き恐縮しておりますが、皆さまから色々なことを学ばせて頂きたいと思っております。今後ともご指導のほどお願いします。



**◆クラブフォーラム・図書贈呈報告●社会奉仕委員会委員長・古屋了君**＝当クラブの社会奉仕の淵源と言いますと、諏訪市の奨学金の原資となるものを、寺島先生と竹屋さんの先代のお声かけで整えたと言っています。最近ですと50周年の記念事業で諏訪市の小中学校に、ロータリー文庫として図書を寄贈して以来、今年で18年目になります。社会奉仕活動として、また周年の記念事業として諏訪市の子供達の図書を寄贈してきました。7年前からは教育現場のニーズに応じて、図書に加えて視聴覚機器をということで、今年度も図書カードを30万円、プロジェクター28万円相当を諏訪市教育委員会へ寄贈させて頂きました。

**●諏訪市教育総務課教育企画係・森崇課長補佐兼係長**＝諏訪市の教育委員会が進めております「ゆめスクールプラン」令和5年度の小中一貫教育の主な現状と取り組みについて説明をさせていただきます。今年度の8月に南部地区の四賀小学校と中洲小学校と諏訪南中学校の再編整備を進めるための「再編推進委員会」を立ち上げて協議をスタートさせました。諏訪市には将来を見通した学校の具体的なビジョンを目指す「未来創造ゆめスクールプラン」を策定してあります。その背景は少子高齢化や地域環境の変化等が、学校教育の環境に少なからず影響を与えておりまして、子供達が地域の中で安心して学ぶことができ確かな学力と豊かな心を身につけるための、新たな学校作りが必要となってきています。平成26年に諏訪市立小中学校のあり方検討委員会が発足され、平成28年に提言書が教育委員会に提出されました。その後、基本構想検討委員会を経て平成30年に、施設一体型の小中一貫教育学校を東部地区、南部地区、西部地区に各1校ずつ設置する基本構想が示されました。小中一貫教育は小中9年間の異年齢集団の中で子供達が多様な考えに触れ、認め合い協力し合い努力することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていくことを可能とする特質を持っているシステムです。諏訪市の将来を担う人材を育むものであります。令和3年4月1日に城北小学校と高島小学校を統合した上諏訪小学校を開校させました。隣接する上諏訪中学校との小中一貫教育を開始しました。今年度からはすべての中学校区でも小中一貫教育をスタートさせているところです。それでは南部地区小中学校がどのような状況であるか、現状について簡単にご説明をさせていただきます。現在の南部地区の小中学校の児童生徒数になります。この3校の児童数は、13,073名となっております。南部地区の小中学校の施設の状況になります。四賀小学校は築55年、中洲小学校は築50年、諏訪南中学校は築38年です。老朽化した施設の方向性の検討を行いました。自然災害による被害範囲を予測化したハザードマップ上では、四賀小学校は急傾斜地に建てられていますので、土砂災害警戒区域です。中洲小学校、諏訪南中学校につきましては、浸水想定区域となっております。大規模改修につきましては、四賀小



学校は建築年数による老朽度からも喫緊に改修が必要な状況です。中洲小学校、諏訪南中学校については、現地建て替えも可能であると考えられております。敷地の条件によりまして、四賀小学校の校舎及び敷地を活用していくことは難しいです。また、南部地区に新たな学校用地となる広大な土地を用意することは、非常に困難な状況でございます。これらの観点から新しい学校を整備していくには、中洲小学校の敷地か諏訪南中学校の敷地を活用して、再編整備をしていくための検討を行いました。このような経過から、ゆめスクールプラン南部地区再編推進委員会を立ち上げました。来年をめどに建設のための基本構想の策定を目指しております。諏訪南中学校の敷地を活用して再編整備をしていく上での課題がいくつかございます。学校の建設までにはしばらく年数がかかるような状況です。このような壮大な構想を実現するためにも、推進委員会で議論を重ねまして、子どもたちが毎日通いたくなるような夢のある学校を作っていきたいと考えております。今後とも未来創造ゆめスクールプラン、諏訪市が進める小中一貫教育にご支援、ご支援をいただけますようお願い申し上げます。

**●諏訪市教育総務課 学務係・飯島恵子係長**＝この度は、豊田小学校へプロジェクターをご寄贈頂き、また市内小中学校へ図書カードを寄贈頂きましてありがとうございます。豊田小学校のプロジェクターの利用について、ご紹介させていただきます。写真は、全校参観日における保護者向けの校長講話の様子になります。これまで豊田小学校では、使用していたプロジェクターの照度が低いため、体育館のカーテンを全て閉めて照明を消さなければ映し出すことができないものでした。寄贈して頂いたプロジェクターは照度が高いため、カーテンを開けたままでも映し出すことができます。話をする校長先生や、それを聞く保護者の方々の表情を見ながら話を進めることができました。より快適に見られるように大型スクリーンも新調し、より鮮明に文字や映像を映し出すことができるようになりました。次の写真は10月10日諏訪ロータリークラブ様にご来校して頂きました「プロジェクターと図書カードの寄贈式」の様子です。続いて行われた前期終業式にもご参列して頂き、ありがとうございました。校長講話においてもプロジェクターを使用させて頂きました。11月11日には、豊田小学校の開校150周年記念式典がございます。式典の中でも卒業生のインタビュー等、児童の発表で使わせて頂く予定です。今後は参集できる集会增加、頂いたプロジェクターを使用する機会はさらに増えていくと思われまます。また、図書カードにつきましても、子ども達に人気の高い本や、教科書に紹介されている本等を中心に選書をさせて頂いております。ロータリークラブ様の温かいお心遣いに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



**◆今後の例会日程**

11/ 3(金)	法定休日
11/10(金)	クラブフォーラム ロータリー財団
11/11・12 (土・日)	2023-2024 年度地区大会 (松本)
11/ 17(金)	クラブフォーラム 日銀松本支店長 卓話